

商品名 タダラフィル錠20mgCI「GO」 医薬品基本情報

薬効	2590 その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬	一般名	タダラフィル錠
英名	Tadalafil CI GO	剤型	錠
薬価	0.00	規格	20mg 1錠
メーカー	江州製薬	毒劇区分	

タダラフィル錠20mgCI「GO」の効能・効果

勃起不全

タダラフィル錠20mgCI「GO」の使用制限等

- 本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、硝酸剤投与中、一酸化窒素＜NO＞供与剤投与中、可溶性グアニル酸シクラーゼ＜sGC＞刺激剤投与中、性行為が不適当又はその恐れ・疑い、心血管系障害、性交中に狭心症の既往、不安定狭心症、低血圧〔血圧＜90／50mmHg〕、コントロール不良の高血圧〔安静時血圧＞170／100mmHg〕、コントロール不良の不整脈、心筋梗塞の既往歴が最近3ヵ月以内、脳梗塞の既往歴が最近6ヵ月以内、脳出血の既往歴が最近6ヵ月以内、重度肝障害、網膜色素変性症
- チトクロームP450 3A4＜CYP3A4＞を強く阻害する薬剤投与中
- Peyronie病、陰茎屈曲、陰茎構造上欠陥、陰茎線維化、多発性骨髄腫、白血病、鎌状赤血球性貧血、持続勃起症の素因となり得る疾患、勃起不全治療剤投与中、PDE5阻害剤投与中、消化性潰瘍、出血性疾患、重度勃起不全、コントロールが十分でない高血圧、高血圧、高脂血症、糖尿病、喫煙、NAIONの危険因子を有していた、冠動脈障害、アルコールを高用量＜0.7g／kg＞飲用

記載場所	使用上の注意
注意レベル	禁止

記載場所	用法・用量
注意レベル	注意

記載場所	使用上の注意
注意レベル	注意

タダラフィル錠20mgCI「GO」の副作用等

- 過敏症、発疹、蕁麻疹、顔面浮腫、剥脱性皮膚炎、Stevens-Johnson症候群
- 心筋梗塞、心臓突然死、失神、起立性低血圧、色覚変化、回転性眩暈、網膜静脈閉塞、非動脈炎性前部虚血性視神経症、網膜動脈閉塞、中心性漿液性脈絡網膜症、食道炎、脳卒中、感覚鈍麻、持続勃起症、勃起延長、鼻出血、咽頭炎、皮膚そう痒症

記載場所	重大な副作用
頻度	頻度不明

記載場所	その他の副作用
頻度	頻度不明

3. 潮紅、動悸、ほてり、血管拡張、心拍数増加、胸痛、狭心症、頻脈、高血圧、低血圧、霧視、眼充血、眼異常感、耳鳴、視覚障害、眼痛、流涙増加、眼刺激、結膜充血、視野欠損、結膜炎、乾性角結膜炎、眼瞼腫脹、消化不良、上腹部痛、悪心、胃食道逆流性疾患、下痢、口内乾燥、胃炎、嘔吐、腹痛、胃不快感、胸部不快感、便秘、腹部膨満、軟便、胃刺激症状、嚥下障害、肝機能異常、AST上昇、ALT上昇、 γ -GTP上昇、ALP上昇、腎機能障害、尿酸値上昇、背部痛、筋痛、四肢痛、関節痛、筋痙攣、筋収縮、筋骨格痛、筋骨格硬直、頸部痛、殿部痛、頭痛、めまい、睡眠障害、錯感覚、傾眠、不安、片頭痛、排尿困難、勃起増強、意図しない勃起、鼻閉、鼻炎、副鼻腔うっ血、呼吸困難、喀血、紅斑、多汗、爪囲炎、疲労、無力症、疼痛、体重増加、倦怠感、熱感、末梢性浮腫、粘膜浮腫、口渇
4. 死亡、心筋梗塞、重篤な心血管系等の有害事象、4時間以上の勃起延長、持続勃起＜6時間以上持続する痛みを伴う勃起＞、血圧下降、視力低下、視力喪失、非動脈炎性前部虚血性視神経症、NAION、痙攣発作、急激な聴力低下、突発性難聴、耳鳴り、めまい、起立性低血圧、精巣重量低下、精細管上皮変性、精巣上体精子数減少、平均精子濃度減少

記載場所	その他の副作用
頻度	5%未満

記載場所	使用上の注意
頻度	頻度不明

タダラフィル錠20mgCI「GO」の相互作用

1. 薬剤名等：硝酸剤

発現事象	降圧作用が増強し過度に血圧を下降
理由・原因	-

投与条件	-
指示	禁止

2. 薬剤名等：一酸化窒素供与剤

発現事象	降圧作用が増強し過度に血圧を下降
理由・原因	-

投与条件	-
指示	禁止

3. 薬剤名等：硝酸剤

発現事象	降圧作用を増強
理由・原因	NOはcGMPの産生を刺激し、一方、本剤はcGMPの分解を抑制することから、両剤の併用によりcGMPの増大を介するNOの降圧作用が増強

投与条件	-
指示	禁止

4. 薬剤名等：NO供与剤

発現事象	降圧作用を増強
理由・原因	NOはcGMPの産生を刺激し、一方、本剤はcGMPの分解を抑制することから、両剤の併用によりcGMPの増大を介するNOの降圧作用が増強

投与条件	-
指示	禁止

5. 薬剤名等：sGC刺激剤

発現事象	血圧低下
理由・原因	細胞内cGMP濃度が増加し、全身血圧に相加的な影響を及ぼす

投与条件	-
指示	禁止

6. 薬剤名等：ペルイシグアト

発現事象	症候性低血圧	投与条件	-
理由・原因	細胞内cGMP濃度が増加し、降圧作用を増強	指示	相対禁止

7. 薬剤名等：チトクロームP450 3A4を強く阻害する薬剤投与中

発現事象	本剤の血漿中濃度が上昇	投与条件	-
理由・原因	本剤の血漿中濃度が上昇	指示	注意

8. 薬剤名等：PDE5阻害剤投与中

発現事象	-	投与条件	-
理由・原因	併用使用の経験がない	指示	注意

9. 薬剤名等：勃起不全治療剤投与中

発現事象	-	投与条件	-
理由・原因	併用使用の経験がない	指示	注意

10. 薬剤名等：CYP3A4阻害剤

発現事象	本剤のAUC及びCmaxが312%及び22%増加	投与条件	-
理由・原因	CYP3A4阻害によるクリアランスの減少	指示	注意

11. 薬剤名等：グレープフルーツジュース等

発現事象	本剤のAUC及びCmaxが312%及び22%増加	投与条件	-
理由・原因	CYP3A4阻害によるクリアランスの減少	指示	注意

12. 薬剤名等：HIVプロテアーゼ阻害剤

発現事象	本剤のAUCが124%増加	投与条件	-
理由・原因	CYP3A4阻害によるクリアランスの減少	指示	注意

13. 薬剤名等：CYP3A4誘導剤

発現事象	本剤のAUC及びCmaxがそれぞれ88%及び46%低下	投与条件	-
理由・原因	CYP3A4誘導によるクリアランスの増加	指示	注意

14. 薬剤名等： α 遮断剤

発現事象	立位収縮期及び拡張期血圧は最大それぞれ9.81及び5.33mmHg下降、失神等の症状を伴う血圧低下	投与条件	-
理由・原因	本剤は血管拡張作用による降圧作用を有するため、併用により降圧作用を増強	指示	注意

15. 薬剤名等：降圧剤

発現事象	自由行動下収縮期及び拡張期血圧は最大それぞれ8及び4mmHg 下降	投与条件	-
理由・原因	本剤は血管拡張作用による降圧作用を有するため、併用により降圧 作用を増強	指示	注意

16. 薬剤名等：カルペリチド

発現事象	降圧作用が増強	投与条件	-
理由・原因	本剤は血管拡張作用による降圧作用を有する	指示	注意

17. 薬剤名等：喫煙等

発現事象	視力低下、NAION、視力喪失、非動脈炎性前部虚血性視神経症	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意

18. 薬剤名等：アルコールを高用量飲用

発現事象	起立性低血圧、めまい	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意

